

10兆円(消費税4%)以上生み出すことができる 国の財務会計制度の抜本的改善による 財源の捻出方法について(提案)

衆議院議員 福田 昭夫

基本的な考え方

予算決算の透明化を図り、事業仕分けにより無駄を省くとともに、財源をより有効に活用すれば、民主党の公約を実現する為の財源は十分に確保できる。消費税の増税は当面必要なし。

具体策

1. 事業別に単価と数量を明示した歳入歳出予算明細書及び歳入歳出決算明細書を作成する(予算決算の透明化)。
2. 歳入歳出予算明細書及び歳入歳出決算明細書がすぐにできるコンピューターシステム「NEW ADMS」を早急につくる(電子政府にふさわしいシステムを！)
3. 一般会計と特別会計の全ての収入をいったん一般会計の歳入に計上する(全歳入の透明化)。それから目的に応じた特別会計の歳入に繰入れる。
4. 特別会計と特別会計間のお金のやり取りは止める(すべて一般会計を通す)。
5. 財政投融资特別会計と外国為替資金及びエネルギー対策特別会計の剰余金は、一般会計に繰り入れる。加えて、保険事業、財政投融资、外国為替資金及びエネルギー対策以外の特別会計については、歳出不用額に相当する一般会計からの繰入れを停止する。
6. 保険事業以外の特別会計の積立金は止めて、一般会計の決算調整資金に一本化する(資源の有効活用)。
7. 国債整理基金特別会計の法に基づく借換債の発行は、そのための予算措置をして行うのではなく、一本化した決算調整資金の積立金からの借入金又は一時借入金(政府短期証券の発行)によって行う。
8. 外国為替資金特別会計で発行している政府短期証券は、1999年10月以前のように、日本銀行に引き受けさせることによって、国債の負担の軽減を図る。
9. 上記の具体策に基づいて財政法、特別会計法等の法令等の必要な改正を行う。

※注) この方法は、東京大学の醍醐聡教授の提案を参考にして、福田昭夫の考えを加え、参議院予算委員会調査室の皆さんのご協力を得てまとめたものである。